

出前中堅教員サポート塾

8月23日に、市原市では「SDGsを取り入れた教育について」、八千代市では「スタートカリキュラムについて」の出前中堅教員サポート塾を開催しました。

ペアやグループでの演習を行う中で、活発な意見交換が見られました。以下、参加者の感想を紹介します。

市原市（令和6年8月23日） 参加者8名

当日の様子と 参加者の声



活動だけでなく本質を捉えられるよう、SDGsの意味を伝えていきたいです。

実践が多くとてもわかりやすかったです。特にワークショップが、授業づくりにとっても活かせる内容でした。



SDGsを学校でやろうとすると、どうしても環境問題に寄ったり、活動ありきになったりしてしまい、本質がこぼれ落ちます。子供が自分のこととして考えられるような実践を考えていきたいです。



他の学校の取組も聞くことができよかったです。SDGsのことを総合的な学習の時間のみならず、各教科と関連づけて児童に浸透させていきたいです。

八千代市（令和6年8月23日）参加者14名

当日の様子と 参加者の声



やはり幼小保の連携は大事だと思いました。教員の意識に差があるので、その差をうめられたら良いし、自分が後輩に伝えていくことはできるので、自分のできることをしていこうと思いました。



スタートカリキュラムは聞いたことがありましたが、内容までは理解していなかったもので知識として深めることができました。初歩的なことから教えていただくことができ勉強になりました。



幼稚園と小学校を接続していくために10の姿とどのように関わりがあるのかを考えて授業を考えていきたいです。改めて幼児教育との接続が大切だと感じました。